

## 腎臓病センター 腎臓内科・血液浄化療法室

診療科名	腎臓病センター 腎臓内科・血液浄化療法室（文責者 尾田高志）
科長名	尾田高志
診療科概要	糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、糖尿病性腎症・全身性血管炎・膠原病・高血圧症などを伴う二次性腎疾患、慢性腎臓病（CKD）、急性腎障害（AKI）などの腎疾患全般の総合的診断、治療を行っている。特に腎疾患の免疫抑制療法、食事療法、ANCA関連血管炎、感染関連腎炎の診断・治療に力を入れている。腎生検症例は年間約50～60例あり、病理診断をもとに治療戦略の立て方を学ぶことができる。年間の透析導入例は腹膜透析導入の約10例を含め、約100例あり、合併症の入院も含めた透析管理についても十分に学ぶことができる。さらに救急救命センター、循環器科などの他科からのコンサルテーションも多く、さまざまな血液浄化法の基礎や体液管理を体得できる。また当科は、2017年4月から腎臓外科と合併しセンター化したため、ブラッドアクセス（シャントトラブル）やペリトニアルアクセス、さらには腎移植症例について学ぶことも可能である。
取得可能認定医専門医	認定内科医、総合内科専門医 腎臓専門医、日本透析医学会専門医
指定研修施設の名称	日本腎臓学会認定教育研修施設 日本透析医学会認定教育研修施設
修養年限	4年
プログラム	研修指導医とチームを組み、主に入院患者の診療に当たる。
1年次	腎疾患患者全般の検査、診断、治療の流れをチーム医療の中で総合的に修得する。基本手技としては腎生検術や透析カテーテル挿入術等を病棟で研修する。 センター内科当直（月に1～2程度）および腎臓内科オンコール（月3～4回程度）
2年次	上記に加えて、 透析患者の回診を行う。 腎臓学会、透析医学会、内科学会にて演題（症例報告）を発表。 コメディカルスタッフと共に年に4回開催している腎臓病教室での患者さんへの教育指導を1回担当する。
3年次	上記に加えて、 週1回程度の腎臓内科外来を指導医の監督のもと担当する。 研修医の指導に当たる。 学会・研究会での口頭発表および論文作成。
4年次	腎臓外来（初診および再診）を担当。 国際学会での発表参加、英文論文投稿を目指す。
スタッフ紹介	尾田 高志 教授・科長 山田 宗治 講師 吉川 恵子 臨床講師 富安 朋宏 助教 小島 糾 助教 廣瀬 剛 助教 大島 泰斗 助教 小松 秀平 助教

週間スケジュール	
月曜日	腎臓内科入院患者カンファレンス、腎病理カンファレンス 腎臓病センター移植患者カンファレンス
火曜日	病棟／外来
水曜日	病棟／外来 教授回診
木曜日	病棟／外来、腎病理・血管炎クルズス
金曜日	透析ミーティング、腎代替療法クルズス
土曜日	腎臓病教室、腎病理専門医との合同カンファレンス、英語論文抄読会